

動物用

機械器具 58 整形用機械器具
一般医療機器 骨接合用又は骨手術用機械器具

プリマド

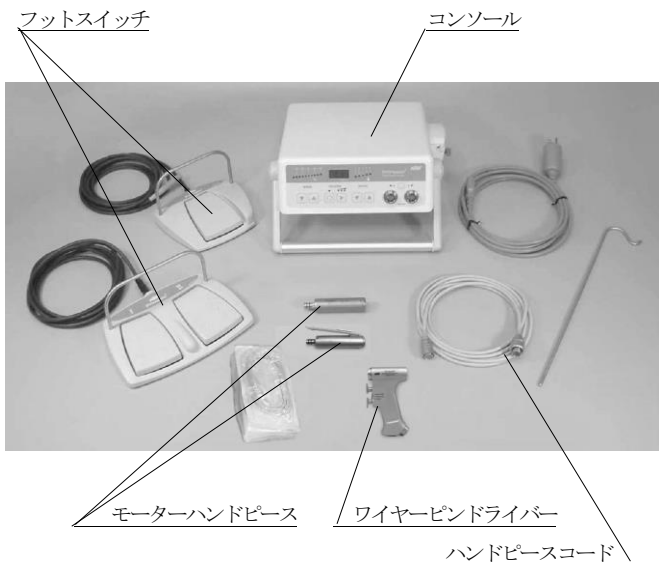
【禁忌・禁止】

- ① バーや刃物(ソーブレード、ツイストドリル等)の交換、アタッチメントの着脱は、モーターハンドピースの回転が停止してから行うこと。
[けがのおそれ]
- ② 使用後は必ずすぐに、洗浄、注油(アタッチメントのみ)、滅菌を行うこと。[血液等の内部凝固のおそれ]

【併用禁忌】

- ① 本品は電磁妨害波が存在する環境下では誤動作を起こす可能性があります。電磁波を発生させる機器の周辺には設置しないこと。
- ② 本製品は、電気メス等高周波を発生させる装置の影響を受ける可能性があるため、そういった機器を使用する時には必ずメインスイッチを切ること。

【形状・構造等】



【品目仕様等】

- (1) コンソール (PD-CU)
 電源電圧……………AC100V 50/60Hz
 定格入力……………48VA
 ポンプ吐出量 (Max.) ……28mL/min
- (2) モーターハンドピース (PD-MH、PD-MH-HS)
 最大回転速度……………60,000min⁻¹
- (3) ワイヤードライバー (PD-WPD)
 最大回転速度……………12,000min⁻¹
- (4) ハンドピースコード (PD-EC)
 寸法……………3.6m
 質量……………316g

【使用目的】

患畜の外科手術領域において骨手術に用いる。

【操作方法又は使用方法等】

詳細については取扱説明書を参照すること。
 コンソールにフットスイッチ及びハンドピースコードを接続する。ハンドピースコード先端にはモーターハンドピースを接続する。
 電源コードを取り付け、AC100Vのコンセントへ接続し、メインスイッチをONにする。
 コンソールのフロントパネル上のスピード調整ボタンで、使用するバーや刃物の回転速度を設定する。フットスイッチを踏み込むことにより、設定した回転速度で使用することができる。
 注水用ポンプシステムを使用する場合は、イリゲーションチューブをコンソールの注水ポンプに取り付け、注水量設定ボタンで注水量を設定する。イリゲーションチューブに接続したイリゲーションノズルをアタッチメントに取り付けることにより、モーターハンドピース使用時の同時注水ができる。

【使用上の注意】

- 詳細については取扱説明書を参照すること。
- ① 本品は獣医家向け製品であり、手技に精通した獣医師以外には使用しないこと。使用前に使用方法等を熟知してから使用を開始すること。
 - ② 電源は必ず第3種接地工事を施したコンセントへ接続すること。
 - ③ 使用前に機器の作動状態を点検し、異常のないことを確認してから使用を開始すること。
 - ④ 消耗部品は必ず予備を備えてから使用を開始すること。
 - ⑤ 診断・治療に必要な時間、量をこえないように注意すること。
 - ⑥ 患畜の安全を第一に考え、使用には十分注意を要すること。
 - ⑦ 機器全般及び患畜に異常がないことを絶えず監視すること。
 - ⑧ 機器および患畜に異常が発見された場合には、患畜に安全な状態で機器の作動を止めるなど、適切な措置を講ずること。
 - ⑨ 落下させるなど強い衝撃は与えないこと。
 - ⑩ ポンプが作動しているときは、チューブを曲げたり折らないこと。
 - ⑪ 機器に患畜が触れることのないよう注意すること。
 - ⑫ 分解、改造を行わないこと。
 - ⑬ 定められた手順により操作スイッチ、ダイヤルなどを使用前の状態に戻した後、電源を切ること。
 - ⑭ コード類のとりはずしに際しては、コードを持って引き抜くなど無理な力をかけないこと。
 - ⑮ 使用中、ツイストコレットは絶対に回さないこと。(アタッチメント)
 - ⑯ 曲がったバー、傷の付いたバー、変形したバー、規格に合わないバーは使用しないこと。
 - ⑰ 弊社指定以外の刃物やバーは使用しないこと。
 - ⑱ バーや刃物を装着していない状態で動作させないこと。
 - ⑲ 異常が発生し、エラーコードを表示した場合は電源を入れ直し、同様のエラーコードが表示されるか確認すること。再度エラーコードが表示された場合、取扱説明書に従い、適切に対処すること。

取扱説明書を必ずご参照ください。

- ㊸ 故障したときは勝手にいじらず、適切な表示を行い、修理は専門家にまかせること。
- ㊹ 使用後は電源スイッチをOFFにすること。また、長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜くこと。
- ㊺ モーターハンドピース、ハンドピースコードへの注油は行わないこと。
- ㊻ シンナー、ベンジン等の溶剤で清掃は行わないこと。
- ㊼ 本体を水に浸さないこと。
- ㊽ 水と表面洗浄剤が本体内部に入らないようにすること。
- ㊾ 超音波洗浄装置、ウォッシュャーステライザーにて洗浄しないこと。
- ㊿ 本品を安全に使用するため、パーや刃物は手術ごとに新しいものに交換すること。
- ㊿ 使用環境条件
温度0～40℃、湿度10～85%RH、
気圧500～1060hPa、
コンソール内に水滴がつかない場所
- ㊿ 本体及びフットスイッチは滅菌しないこと。故障の原因になります。
- ㊿ 使用後のコンソール、フットスイッチに血液や滅菌水（生理食塩水）などが付着したときは、電源コードを取り外し、水をよく絞った布で拭き、さらに消毒用アルコールを含ませた布で拭き取ること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1) 貯蔵・保管方法

- ① 水のかからない場所に保管すること。
- ② 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に保管すること。
- ③ 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意すること。
- ④ 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。

2) 耐用期間

製造の日から、正規の保守点検（消耗部品の交換）を行った場合に限り7年間とする。

【保守・点検に係わる事項】

詳細については取扱説明書を参照すること。

モーターハンドピース、ハンドピースコード、アタッチメントはオートクレーブ滅菌が可能である。

また、以下の手順により、清掃、注油、滅菌を行うこと。

- ① 手術後、モーターハンドピース、ハンドピースコード、アタッチメントをそれぞれ外す。
- ② アタッチメント内部に付着した骨片や血液を除去するために、手術後直ちにEZスプレー（別売品）で十分にアタッチメントの洗浄・注油を行うこと。（モーターハンドピース、ハンドピースコードにはスプレーしない）
- ③ アタッチメントとモーターハンドピース表面の汚れをブラシ（金属製は不可）などで払い落とし、消毒用アルコールを含ませた綿などで拭き取る。
- ④ 滅菌ケース、滅菌トレーに入れる。
- ⑤ 135℃までのオートクレーブ滅菌を行う。
- ⑥ しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に装置が正常且つ安全に作動することを確認すること。

【包装】

以下の各構成品がそれぞれの箱の中に入り、出荷される。

- ・コンソール
- ・モーターハンドピース
- ・ワイヤービンドライバー
- ・ハンドピースコード
- ・EZスプレー
- ・パナスプレーエックス
- ・フットスイッチ（オプション）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は住所等】

株式会社 ナカニシ

住 所：〒322-8666

栃木県鹿沼市下日向700

TEL：0289-64-3380

FAX：0289-64-3890